

「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2017 実績	年度	2018	2019	2020	2018～2020年度 取組内容	自己評価や今後の 課題・対応策など
いきいき百歳体操	いきいき百歳体操を地域で自主的に取り組めるように支援し、高齢者ができるだけ要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送れるようにする。徒歩で通える拠点を整備することにより、地域活動を広げ、介護予防につなげていく。	7箇所	目標	13箇所	19箇所	25箇所	(2018) 13箇所開設し、現在も1箇所以外は継続している。 (2019) 「いきいき百歳体操」介護予防サポーターを養成し、サポーターを中心に新規に6箇所開設した。 (2020) 新規に7箇所開設し、合計25箇所になったが新型コロナウイルスの影響で5箇所が休止中である。	自己評価：△ 目標は達成したものの新型コロナの影響もあり、5箇所が休止中。今後も地域での住民主体の活動を推進していくためにも介護サポーターとして活躍できる人材の育成に努める。また、参加促進のためのアウトリサーチとして対象者の抽出や訪問等の取組を検討していく。
			実績	13箇所	19箇所	25箇所		
運動機能向上介護予防教室	プールを利用した水中運動と家庭や地域でできる自主運動を含む運動プログラムを実施。市内にある2箇所のプール施設での開催を考慮して、目標設定する。		目標	3箇所	3箇所	2箇所	温水プールでの水中運動を中心に筋力トレーニング等を行う介護予防教室を実施した。開始前と比べると歩行速度やフレイル評価に維持改善が認められた。 (2018) 参加者24人 (2019) 参加実人数31人、延人数412人 (2020) 参加実人数29人、延人数510人	自己評価：○ 新型コロナの影響で開始時期を延長することとなったが参加者のうち79.3%が継続して参加することができた。今後も参加者確保のため、関係機関と連携した幅広い周知が必要である。
			実績	2箇所	2箇所	2箇所		

「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2017 実績	年度	2018	2019	2020	2018～2020年度 取組内容	自己評価や今後の 課題・対応策など
健康教室	認知症予防、栄養改善、口腔機能の向上などの介護予防に関する健康教室を開催する。より多くの高齢者が参加しやすいよう通いの場やサロンでの開催を考慮して目標設定した。		目標			10回	(2020) 保健師による通いの場を利用した健康教室を実施。食生活を中心としたフレイル予防に関する内容で参加者は231人であった。	自己評価：○ 目標は達成したものの新型コロナの影響もあり、全ての通いの場での開催はできなかった。今後も関係機関と連携し、周知していく。
			実績			11回		